

CHALLENGER

TEAM MASSA-FOCUS-OUTDOOR PRODUCTS CYCLING TEAM

チーム広報誌No.003

チーム初勝利！

4月19日に大阪市舞洲スポーツアイランドで開催された第10回サイクルロードレース大阪クリテリウム in 舞洲のエリートカテゴリーにおいて、笹井選手がチームへ1勝目をもたらしました。

そして彼自身もロードレース初優勝です。

マルコポーロや京都産業大学なども参加、他にも有力選手が集まっていました。

チームからは他にも伊勢と辻本が参加、この日調子の良かった笹井を温存してレースを進め、ラスト300メートルほどで先行。そのまま少し集団から抜け出す形となって逃げ切り優勝を果たしました。



チャレンジサイクルロード

4月5日のチャレンジサイクルロードレースは、ブリヂストンや愛三、マトリックスと言った有力チームがほぼフルメンバーで参戦し、今年の国内ロードレース占うのに重要なレースでした。

チームからは津末、伊藤、伊勢、斉藤がエリートカテゴリーのレースに出場し、岸本がアンダー23カテゴリーに出場。



岸本の出場するアンダー23は午前スタート。

学生や若い実業団選手主体のこのレースでは、優勝候補と言っても絶対的な力の差はなく、岸本にもチャンスはあるレース。

何人かの優勝候補といわれている選手をきっちりとマークしていけば、十分チャンスはあると感じましたが、中盤からの揺さぶりでそれまで思いのほか消耗していた岸本選手が先頭グループの動きに反応できず後手に。

第2グループで積極的に追走したもののそのままゴール、22位と言う結果でした。



チームに加入してからのトレーニングを見ていると、十分先頭グループで展開できるレベルにいたと思いますが、冷静さを失ってしまった結果でした。

まだまだこれからの選手ですので、こういった失敗を繰り返してでも徐々に重要なレースで結果を残せる選手になってほしいと思います。

エリートのレースは午後からスタート。

昨年入賞している津末を軸に、登りに強い斉藤の2人を中心にレースを進めることを考え、そして伊勢と伊藤も十分走れるレベルだと感じたので、彼らにも積極的にレースをするように指示。

愛三の別府が単独でアタック。それを集団全体が牽制気味に展開。

ラップ自体はそれほど速くなく、ここでは様子をみて大事な局面で動けるよう待機。

中盤に逃げが捕まりレースが活性化。



本命のシマノが動いたとき、斉藤はチェーンが外れて脱落。津末は体調不良で徐々に後方へ。

伊藤のみが前にいくべく踏ん張るが、あと少しで力尽きてメイン集団へ。

その後は伊勢と伊藤の2人がメイン集団。

先頭は3人で、伊勢は積極的にレースを進めるものの抜け出せず、伊藤が最後の登りでアタックして入賞か？と思われたが捕まり、伊勢13位、伊藤18位、そして斉藤が27位と言う結果でした。

今回のレースは、数字こそ満足できるものではありませんでしたが、内容的にはよくやったと言えるレベルだったと思います。

J サイクルツアー(実業団ロード)開幕へ向けて！

4月29日より実業団のレースが始まります。

今年よりJサイクルツアーと言う名前に変わり、年間12戦で国内実業団シーズンを戦います。

第1戦は群馬県の群馬サイクルスポーツセンターで行われる東日本実業団ロードレース。

このコースは緩いアップダウンが続くコースで、ゴール前にある心臓破りの坂がポイントとなってくるでしょう。

マウンテンバイクを中心に活動する3人は、マウンテンバイクのJシリーズ第2戦「八幡浜」に出場するためにエントリーしていません。

今回の出場メンバーは

○笹井秀治

○津末浩平

○伊藤翔吾

○伊勢直人

○岸本勇氣

の5名です。

チャレンジサイクルロードでは伊勢と伊藤が積極的なレースを見せてくれ、今回も楽しみです。

西日本チャレンジでは7位に入ったキャプテン津末は、チャレンジでは体調不良でリタイヤとなりましたが、ここでリベンジといきたいところ。

そして前週の舞洲ロードでは、チームとして初優勝をもたらした笹井も期待できる場所です。

今回の東日本実業団ロードは、チームの上位3人の成績で1位チームには100万円の賞金が設定されていますが、シマノや愛三、ブリジストンといった強豪チームがアジアツアー

のレースを転戦中なので、まったくチャンスがないわけではありません。

これまでの成果を発揮して欲しいです。

各選手のコメント

津末浩平

東日本はJツアー初戦ということで、かなり多くの人印象に残るレースになると思うので、優勝争いに絡める走りをしたいです。

そしてキャプテンとしてうまくチームをまとめられるように頑張りたいと思います。

伊藤翔吾

東日本実業団はポイントが高いレース、順位にこだわって走ろうと思います。

目標は10位以内です(初戦なのでここでの成績は今後の注目度も変わってくると思うので)。

チームでベストな成績が残せるように、レース中のコミュニケーションを今まで以上にとって走ろうと思います。

伊勢直人

今年初のJツアーレースなので気をひきしめ油断せず、チームに貢献できるような走りで行きます。

笹井秀治

冬の乗り込みの効果がジワジワ出てきているのか、前週の舞洲クリテリウムでも少数メンバーながら優勝もできて調子も上々です。

この流れをそのままに、さらに次に繋げていくためにもJツアー初戦となる東日本実業団は重要な位置付けにあるレースであると思っています。

頭を使ったチームプレイでレースを作っていく、総力戦でどん欲に結果を求めていきたいと思っています。

チームスポンサー

- フォーカス(フレーム：ダイワ精工株式会社)
- アウトドアプロダクツ(丸紅ファッションプランニング株式会社)
- ヴィットリア(タイヤ：ヴィットリアジャパン)
- 日本食研(ミネラルウォーター・栄養補助食品：日本食研株式会社)
- カンパニョーロ(バイクコンポ：カンパニョーロジャパン)
- OGK KABUTO(ヘルメット・ボトル：株式会社オージーケーカブト)
- コントロールテック(ハンドル・ステム：株式会社ヨシガイ)
- PRO GOLD(バイク用ケミカル類：株式会社ヨシガイ)
- キャットアイ(スピードメーター：株式会社キャットアイ)
- Exustar(ボトルゲージ：ダイワ精工株式会社)
- Luma(サイクリングウェア：国内代理店 Massa Enterprise)
- 蘭旺株式会社

レースの結果

- 4月5日 チャレンジサイクルロードレース(静岡県・日本 CSC)
- | | | |
|--------|----|------|
| アンダー23 | 岸本 | 22位 |
| エリート | 伊勢 | 13位 |
| | 伊藤 | 18位 |
| | 斉藤 | 27位 |
| | 津末 | リタイヤ |
- 4月12日 京都府普及大会(京都府向日町競輪場) 参加者 辻本学
- 1,000mタイムトライアル 3位
- 4月19日 クリテリウム in 舞洲(大阪市舞洲スポーツアイランド)
- | | | |
|------|----|-----|
| エリート | 笹井 | 優勝 |
| | 伊勢 | 7位 |
| | 辻本 | 12位 |

今後のスケジュール

- 4月26日 東日本実業団ロード(群馬県群馬 CSC)*J サイクルツアー #1
- 4月26日 リッククリテリウム(滋賀県草津市立命館大学草津キャンパス)
- 5月28日
- ～31日 ツールド熊野(和歌山県新宮市周辺)*J サイクルツアー #2